



幸せを知らない少年と幸せを失くした男 心たりの出逢いが、この心暖まる名作を生んだ

悲しみの中で消えようとした、いのちの灯……  
—— ジョーの吹くあのメロディが  
生きる勇気をもたせてくれた！

パート・ヤング  
ダグ・マッキーン  
監督ジョゼフ・C・ハンライト  
マッジ・シンクレア  
(カラー作品)

Uncle Joe  
SHANNON

# アンクルジョー

製作ロバート・チャートフ/アーウィン・ウィンクラー ◆ 脚本パート・ヤング  
監督ジョゼフ・C・ハンライト ◆ 音楽ビル・コンティ(サントラム・コナイトレコード) ◆ トランペット・ソロ/メイナード・ファーガソン

United Artists  
A Transamerica Company

ユナイト映画

# アンクルジョー

Uncle Joe  
SHANNON  
〈カラー作品〉

## 「ロッキー」ファミリーが贈る

### 愛と涙のプレゼント!

76年の最大ヒット「ロッキー」の好演でアカデミー助演賞候補にノミネートされたハリウッドの人気性格俳優バート・ヤング、それを製作したロバート・チャートフ／アーウィン・ウィンクラー、そして音楽ビル・コンティの栄光のチームが「ロッキー」に続いてまたも素晴らしい感動を生み出した!

人気の絶頂で妻と子を事故で失い、非劇の淵へ沈んだジャズマンと、母に捨てられた足を病む6才の少年の運命の出逢い。失意の二人が生きる勇氣に奮い立つまでの笑いとおべろソスの触れ合いを、センチメンタルなトランペットが盛りあげて……。初主演に張り切るヤング長年のアイデアを彼自らが脚色。TV・CFの世界からデビューする俊鋭ジョー・ハンライト監督が、みずみずしい映像詩を展開してみせるシーズン一番の感動編!

## ■木枯しの街に、悲しみの二人……

ジョー・シャノン、60年代に圧倒的人気を呼んだジャズ・トランペッターだ。全盛期にはハリウッドに招かれ、映画音楽も書いた。しかし、彼の人生は最愛の妻と息子を、公演中の火事で失うという一瞬の悪夢から暗転する。以来10年。スラムで酒びたりの毎日を送るジョーに往年の面影はとうに消えていた。ロビーは口スの街中で母に置き去りにされた6才の孤児。母の「友達」だったジョーに妙な親近感を覚え、そばを離れようとする。少年の幸せを考えて彼を孤児院へ入れようとするジョーと、それをかたくなに拒むロビー。やがて少年の足がガガに言われていることが発見されて……。折りしも街はクリスマス。幸せを求めて奇妙なアンラッキー・コンビが街を行く。

## ■またも飛び出した驚異の天才子役!

バート・ヤングの名演もさることながら、舌を巻くカンのおさで悲しみの少年ロビーを演じ切ったダグ・マッキーンの子役ぶり、ドラマの大きな見所。ヤングとはTVスペースヤルで親子役を共演済みとあって、イキの合った絡みを見せる。達者過



## ●スタッフ

製作……………アーウィン・ウィンクラー  
……………ロバート・チャートフ  
監督……………ジョセフ・C・ハンライト  
脚本……………バート・ヤング  
演奏(トランペット・ソロ)……………メイナード・ファーガソン  
音楽……………ビル・コンティ

## ●キャスト

ジョー・シャノン……………バート・ヤング  
ロビー……………ダグ・マッキーン  
マーガレット……………マジ・シンクレア  
ゲース……………ジェーン・バーナード

ぎる子役にありがちなクセの全くない素直な感情表現は、特に女性ファン涙腺をくすぐり、母性本能をかきたてること疑いなし。「チャンプ」のロッキー・シユローダー少年、「ブラック・スタリオン」のケリー・レノ少年とともに、いま全米はちよつとした子役旋風に湧いている。

## ■夜空に響け、哀愁のトランペット!

メイナード・ファーガソンといえば、「ロッキー」のテーマで一躍ポピュラーな存在になったクロスオーバー・シヨンの人気者。その彼が劇中バート・ヤングの吹くトランペット・ソロを鮮かなテクニクで吹き代えている。主人公アンクル・ジョーの心情をバイブレットするように、クリスマス夜の夜空に響き渡る独特のハイノート奏法は、特にラスト・シーンで劇的效果を挙げて透逸。また、劇中のジャズ酒場やスタジオ・シーンにおける歯切れのいいフュージョン・ジャズを演奏しているのは、ベースのヘンリー・フランクリンを始めとする西海岸の腕こぎセツシヨンメンたち。ファーガソンのペットとともに、ジャズ・ファンには逸せない聴きものとなっている。

9月22日(土)より感動のロードショー

有楽町 有楽町駅前(そごう側)有楽町ビル内  
スバル座 (212) 2826

特別鑑賞券1000円好評発売中!

日・祝 10:20 平日 12:30 2:40 4:50 7:00